

睦月たち昇る師の香を机に移し

たんじょう

みやうた

端正の日に宮歌を和す

令和六年一月二十一日

大中臣正比呂



一月生まれの筆者は、初稽古の日に誕生日プレゼントを頂いた。

嗚呼、また高貴香礼者に近づいた。筆者の練習曲は宮中歌会の「御題」

のようなものである。長唄は掛詞と縁語のオンパレードであり、筆者の

作風も長唄風となってきた。長唄曲「都鳥」の次は何であろうか。